



I K U W A K A I

はぐくみ

医療法人 育和会 育和会記念病院

育和会記念病院
介護老人保健施設 ひまわり〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目20番29号
〒544-0012 大阪市生野区巽西2丁目9番31号TEL 06-6758-8000(代表) FAX 06-6758-5690 <http://www.ikuwakai.or.jp/>
TEL 06-6751-7290 FAX 06-6751-8900

大阪発ビッグイベント

新元号である「令和」の発表とともに、新たな時代が始まりました。医療法人育和会では、「その人らしさを大切に」を合言葉に、地域住民の皆様の健康と疾病予防に貢献するため、最新の医療の提供とこれからの医療介護を担う人材の育成に、職員一同さらなる努力を続けていく所存です。今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、令和の時代を迎え大阪ではビッグイベントが目白押しです。本年6月にG20大阪サミット、9月にはラグビーワールドカップ、そして6年後の2025年には大阪万博が開催されます。

ラグビーワールドカップは初めて日本で開催されますが、オリンピック、サッカーワールドカップに続くスポーツイベントで、開催期間中海外からの訪日客は約40万人に上ると推測されています。ワールドカップの決勝戦は横浜で行われますので、大阪発とは言い過ぎかもしれませんが、ご存知の通り東大阪の花園は高校ラグビーの聖地で府下には強豪校が多く、平成時代に30回開催された高校ラグビー花園大会の優勝は大阪府代表が実に15回と半数を誇ります。また、生野区の中学はラグビーが盛んで名ラガーマンが地元から多く誕生しています。生野区民として、また大阪府民としてぜひワールドカップを盛り上げ、日本代表チームの活躍に期待したいと思います。

前回大阪で万博が開催されたのは1970年で、私自身はまだ就学前でしたが、月の石や、個性的な形状のパビリオン群、圧倒的な存在感を放つ太陽の塔と、それを背景に三波春夫氏が歌う「世界の国からこんにちは」など、いずれもSFの未来を感じさせるインパクトがあり、鮮明に記憶に残っています。

当時は月という太陽系のごく一部を垣間見ただけでしたが、まだ見ぬ宇宙への探究心を駆り立てるに十分であり、今では探査機はやぶさが太陽系の果てから物質を持ち帰るまでに日本の技術は進歩しています。前回の万

博は宇宙開発のマイルストーンとしてその意義はとて大きかったと思えます。技術革新の契機になるだけでなく、その経済効果においても2025年万博は約2兆円とも言われており、大阪の活性化のためにもぜひ成功させたいビッグイベントです。

大阪万博でどんな未来像を見せてくれるのかとても楽しみです。私たちの社会保障を取り巻く環境も2025年に向けて大きく変化しようとしています。いわゆる2025年問題への解としての地域医療構想です。大阪では、公・民イコールフィッティングを目指す独自の地域医療構想が取りまとめられつつあり、これも大阪発のビッグイベントというべきでしょう。府下すべての医療機関の診療実績を徹底的に「見える化」し、公・民の区別なく地域の課題を共有化して、2025年問題への対策を含め将来のあるべき姿を取りまとめているところです。医療・介護・居住サービスを住み慣れた地域で提供するには、公・民・医院・病院が一体となって改革を進める必要があります。

ラグビーの魅力は、体格の異なる個性豊かなメンバーが、コミュニケーションをとり一丸となって課題を乗り越えていくところにあります。地域医療構想においても、ラグビー精神さながら、各病院や医院が互いの個性を尊重しながら課題を克服し、地域住民の方が安心して暮らせる大阪を創っていくことが求められています。次回大阪万博のテーマは「命輝く未来社会のデザイン」、開催は奇しくも2025年。大阪地域医療構想、ラグビーワールドカップ、大阪万博、これら令和時代に大阪で迎える3つのビッグイベントの意義はその根底において繋がっているように感じます。これらのイベントを通じ、来る2025年、人口、医療システムにおける課題先進国として夢のある解決策を、大阪発で世界に発信する、そうありたいと願っています。

令和時代もどうぞよろしくお願い申し上げます。

育和会記念病院 理事長
山住 俊晃

新任 医師 紹介

今年の4月から、新しく入職した先生方に、
下記の質問に答えていただきました。

- Q1 出身・前住地はどこですか？
Q2 専門分野・資格・これまでの実績など
Q3 育和会記念病院での抱負・方針

研修医 櫻井 太佑

サクライ ダイスケ



A1 出身は大阪市です。
和歌山県立医科大学を卒業しました。
A3 皆様のお役に立てるよう日々精進します。

研修医 藤井 敦也

フジイ アツヤ



A1 大阪市出身です。
大阪市立大学を卒業しました。
A3 研修を通して立派な医師となれるよう、精進していく所存です。

研修医 茂木 祥子

シゲキ ショウコ



A1 大阪出身です。
大阪市立大学を卒業しました。
A3 知らないことが多く、戸惑うことも多いですが、勉強し続けて少しでも力になれるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

外科 丸尾 晃司

マルオ コウジ



A1 大阪府豊能郡豊能町出身
大阪市立大学医学部医学科卒業
初期研修終了後、大阪市立大学医学部附属病院外科に入局
大阪市立大学医学部附属病院で臨床経験を積んで参りました。
A2 消化器外科、乳腺・内分泌外科
A3 手術を受ける必要のある患者さまやご家族の不安は量りしれないと思いません。検査や治療方針の説明にあたっては、少しでも分かりやすく安心感をもってもらえるよう心がけます。外科医としてまだまだ未熟ですが、日々成長できるよう努力して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

放射線科 前田 裕之

マエダ ヒロユキ



A1 滋賀県出身 滋賀医科大学卒業
京都の洛和会丸太町病院で研修を終え、大阪市立大学医学部附属病院放射線科に入局
A2 放射線科専攻医
薬剤師免許ももっています。
A3 普段は患者さんの前には現れない放射線科医ですが、CTやMRI画像を通じて間接的に患者さんを診させてもらってます。皆さまのお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

研修医 石塚 拓也

イシヅカ タクヤ



A1 出身は東大阪市です。
大阪市立大学を卒業しました。
A3 立派な医師になれるよう、一生懸命がんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

開放型病院制度のご案内



当院では地域の医療機関と連携を図りながら、患者さまに対して継続性・一貫性のある医療を提供することを目的とし、平成25年10月より開放型病院制度を運用しています。

●登録医の主な特典

- ・入院した紹介患者さまの診察に関する施設等の共同利用(開放病床等)
- ・入院した紹介患者さまへの訪問、病院主治医との意見交換、カルテ閲覧等
- ・当院主催の症例検討会や研修会等への参加
- ・登録医医療機関名のホームページおよび院内掲示版での掲載案内

・登録医医療機関への逆紹介の推進

・登録医証の発行

・開放型病床を利用され共同診療・指導を行った場合、
開放型病院共同指導料(1)算定(患者さま1人1日につき350点)

今後もたくさんの先生方に「登録医」として連携にご協力いただくことを心よりお待ちしております。ご希望の場合は地域医療連絡室(電話 06-6758-8115)までお問い合わせいただければ幸いです。

登録医一覧 (地区別五十音別 敬称略)

医療機関名	医師名	郵便番号	住所	電話
有沢医院	有澤健司	544-0013	大阪市生野区巽中2-4-19	6758-1154
井神クリニック	井神 仁	544-0014	大阪市生野区巽東2-5-31	6757-1346
ウヤマ・イマムラ医院	山中知佳	544-0005	大阪市生野区中川5-5-5	6753-1471
浦岡小児科	中村美奈子	544-0006	大阪市生野区中川東2-13-17	6754-0511
大江内科	大江洋史	544-0013	大阪市生野区巽中1-21-18	6758-2085
大江整形外科	大江久之	544-0013	大阪市生野区巽中1-21-18	6758-5550
小倉医院	小倉恭子	544-0002	大阪市生野区小路東3-1-28	6751-6178
葛西医院	小林正宜	544-0003	大阪市生野区小路東6-4-20	6751-6078
岸田内科	岸田泰弘	544-0003	大阪市生野区小路東1-3-26	6751-3500



医療機関名	医師名	郵便番号	住所	電話
協同診療所	稲次征人 稲次直樹 稲次洋平	544-0003	大阪市生野区小路東 4-6-27	6752-5075
黒岡医院	黒岡京浩	544-0001	大阪市生野区新今里 7-10-15	6757-2306
弘善会クリニック	伊藤 章 北岡寛教 中野誠人	544-0011	大阪市生野区田島 5-23-39	6756-8687
さの内科医院	佐野徹明	544-0002	大阪市生野区小路 2-28-2	6754-2024
しあわせクリニック	成林葉子 亀山千晴	544-0024	大阪市生野区生野西 2-5-14 寺田町田中ビル1F	6711-2525
清水整形外科	清水孝修	544-0013	大阪市生野区巽中 4-11-6	6752-3800
杉村内科クリニック	杉村圭一	544-0003	大阪市生野区小路東 3-3-7	6751-0643
孫クリニック	孫 永煥	544-0031	大阪市生野区鶴橋 1-3-8	6717-5050
田島クリニック	射手矢侑大	544-0011	大阪市生野区田島 6-2-26	6758-9910
谷本医院	谷本吉造	544-0004	大阪市生野区巽北 3-16-3	6752-5505
中村クリニック	中村 徹	544-0013	大阪市生野区巽中 2-22-13	6752-3100
菜の花診療所	山寺慎一	544-0033	大阪市生野区勝山北 2-11-22	6716-7087
西牧医院	西牧弘行	544-0001	大阪市生野区新今里 5-1-4-1F	6758-5871
にんクリニック	任 哲佑	544-0013	大阪市生野区巽中 1-21-32	6756-8806
畠中クリニック	畠中剛久	544-0023	大阪市生野区林寺 3-14-32	6715-3355
東田クリニック	東田 庸	544-0015	大阪市生野区巽南 5-2-41	6792-3033
藤井医院	藤井敬三	544-0023	大阪市生野区林寺 4-2-32	6777-0222
文クリニック	文 正夫	544-0013	大阪市生野区巽中 4-19-10	6755-3880
ほうげん内科医院	金 邦源	544-0002	大阪市生野区小路 2-27-11	6755-7081
正木クリニック	正木初美	544-0034	大阪市生野区桃谷 2-18-9	6741-5546
松岡クリニック	松岡修二	544-0012	大阪市生野区巽西 1-2-12	6758-3347
松本医院	松本 圭	544-0034	大阪市生野区桃谷 2-19-20	6731-3830
峯クリニック	峯 孝子	544-0003	大阪市生野区小路東 5-7-22	6758-2082
宮川内科医院	宮川松剛	544-0031	大阪市生野区鶴橋 5-21-7	6731-2255
宮永クリニック	宮永武章	544-0013	大阪市生野区巽中 4-19-10	6755-3877
宮本医院	宮本 隆	544-0001	大阪市生野区新今里 3-22-8	4306-7701
やすなりみどり診療所	安成春美 安成憲一	544-0015	大阪市生野区巽南 3-7-8	6758-5511
李クリニック	李 在都	544-0001	大阪市生野区新今里 2-4-15	6751-0558
りょうクリニック	梁 昌熙	544-0013	大阪市生野区巽中 1-23-6	6753-3577
葵クリニック	田中聡彦	547-0041	大阪市平野区平野北 2-14-6 オオクラ医療複合ビル 1F	6796-2251
あかばねクリニック	赤埴吉高	547-0015	大阪市平野区長吉長原西 1-4-6	6704-7890
さだ内科クリニック	佐田玲子	547-0002	大阪市平野区加美東 1-13-44	4303-8877
田中整形外科	田中富弥	547-0001	大阪市平野区加美北 5-10-52	6794-6660
南クリニック	南 英利	547-0002	大阪市平野区加美東 4-20-20	6791-3739
みのりクリニック	李 氏貴 姜 定孝	547-0041	大阪市平野区平野北 1-9-8 武陵平野駅前医療複合ビル 2F	6796-3110
山口内科クリニック	山口康徳	547-0024	大阪市平野区瓜破 5-2-29	6777-6565
秋岡診療所	秋岡 要	537-0011	大阪市東成区東今里 1-7-18	6981-2255
えびすクリニック	阪本憲彦	537-0013	大阪市東成区大今里南 1-1-23 ノアーズアーク今里駅前 103	6224-3114
大今里ふれあいクリニック	別府敬三	537-0013	大阪市東成区大今里南 1-3-1 大今里リハビリテーションセンター 1F	6971-2121
大庭医院	大庭宗夫	537-0023	大阪市東成区玉津 2-14-29	6777-6565
竹井クリニック	竹井通博	537-0014	大阪市東成区大今里西 3-10-9	6976-4671
長田医院	長田栄一	537-0002	大阪市東成区深江南 1-10-8 ピアメゾン深江 1階	6973-5500
よつ葉クリニック	前田巨人	537-0012	大阪市東成区大今里 3-14-23	6976-0048
IS クリニック	糸原房宣	550-0004	大阪市西区靱本町 1-7-9 靱イーストビル	6479-0018
池田クリニック	池田光慶	543-0044	大阪市天王寺区国分町 3-26-1F	6772-2100
川端内科クリニック	川端一史	542-0073	大阪市中央区日本橋 1-16-16	6634-0003
北脇クリニック	北脇文雄	558-0003	大阪市住吉区長居 2-9-25	6692-0262
心斎橋ペインクリニック	岩崎昌平	542-0086	大阪市中央区西心斎橋 1-4-5 御堂筋ビル 8F	6243-7888
天王寺記念クリニック	北口宏樹	543-0053	大阪市天王寺区北河堀町 7-21	6775-0007
西平診療所	西平守也	551-0003	大阪市大正区千鳥 3-4-21	6553-1166
やまぐち整形外科クリニック	山口博史	545-0002	大阪市阿倍野区天王寺町南 1-6-12	7894-1010
かわぐち呼吸器内科クリニック	川口 俊	577-0843	東大阪市荒川 1-4-23	6730-8259
岸川医院	岸川匡彦	577-0056	東大阪市長堂 1-9-18	6783-1689
酒井医院	酒井宏純	577-0807	東大阪市菱屋西 2-7-16	6729-7715
さざなみクリニック	近藤 礎	578-0901	東大阪市加納 2-12-7	072-960-0299
たに内科クリニック	谷 和宏	577-0066	東大阪市高井田本通 1-5-31	6618-5050
土井医院	土井利毅	577-0833	東大阪市柏田東町 6-16	6727-0566
みずしま内科クリニック	水嶋 潔	577-0054	東大阪市高井田元町 1-3-1	6781-3330
安井クリニック	趙 秀一	577-0002	東大阪市岸田堂西 2-1-6	6721-0001
やまもと内科クリニック	山本年濟	577-0837	東大阪市寿町 3-12-3	6728-7724
龍神内科医院	龍神 慶	577-0842	東大阪市足代南 1-4-5	6730-5737
藤井内科小児科	藤井隆生	581-0072	八尾市久宝寺 1-1-8	072-993-8881
マサキクリニック	田中勝喜	580-0024	松原市東新町 4-11-2	072-339-6828

チーム医療活動の取り組み

昨今の医療現場では多職種が連携しながら「主治医」や「診療科」の枠を超え、一人の患者さんの治療にあたる「チーム医療」が注目されています。

チーム医療では医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士や事務職員などが、それぞれの知識や経験、技能など専門性を出し合い、最善の治療とサポートを実践することを目的として活動しています。

当院でも7つのチームがチーム医療活動に取り組んでいますのでご紹介いたします。

ICT (感染制御チーム)

呼吸器内科部長 塚田 要

ICT (Infection Control Team)は医師や看護師、薬剤師、検査技師、事務職など多職種から成る感染予防とコントロールのチームです。今、流行している感染症や新しい知見などの情報、院内に存在する菌やウイルスなどの病原微生物情報をICTに一元化し、それらの情報を発信しつつ院内での感染症アウトブレイクが起こらないように、ラウンドや研修などを含めた総合的なチーム活動を行っています。

現在では医療安全を考えるうえで感染予防は外すことはできません。風疹や麻疹・結核など古くからある再興感染症から、MERS・エボラ出血熱・デング熱など新興感染症に至るまで感染に関する関心や期待をひしひしと感じる日々です。最近は一施設だけの問題ではなく、入院し回復すればまた地域での生活に戻る、といった状況から地域ぐるみでの感染対策が求められています。この地域での感染症や微生物情報の集約、セミナーなどの開催にも力を入れたいと考えております。



CST (排尿ケアチーム)

泌尿器科部長 山本 晋史

平成28年度診療報酬改定により、「下部尿路機能障害を有する患者に対するケアの評価」として排尿自立指導料(B005-9)が新たに設置されました。それに伴い当院では平成30年4月1日より排尿ケアチームを設立し活動を開始しています。具体的にはバルンカテーテル留置中の患者で、抜去後に様々な排尿症状を生じると予測される患者を抽出し、医師、看護師、理学療法士等が連携して患者の排尿自立に向けての包括的排尿ケアを行っています。週1回のラウンドのなかで、効果評価指標のデータ収集をおこないそれぞれの対策をチームで評価しています。

まだまだスタートしたばかりのチームですが、現在のところ順調に活動しています。これを機会にたくさんのスタッフが排尿ケアに関心を持って頂けると幸いです。



NST (栄養サポートチーム)

外科主任部長 櫻井 康弘

NST (Nutrition Support team)の略称：栄養サポートチーム)は栄養状態の改善が必要な患者さまに適切な栄養療法を行う医療チームで医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚療法士、理学療法士、事務職など多職種で構成されています。栄養管理はすべての治療法の基盤といえます。

栄養状態が良好であれば、治療が円滑に進み、早期退院につながりますが、栄養状態が不良である場合は、感染症にかかりやすい、傷が治りにくい、褥瘡ができやすいなど、問題が生じる可能性があるからです。そのため入院時に栄養状態が不良な患者さまを抽出し、週1回、チームで回診を行い、栄養投与法(経口、経静脈、経管)や投与内容、



量等について専門的に分析して主治医に最適な栄養管理を提案し、患者さまの疾患の治療を栄養面から支えるように活動しています。

活動の中心は月1回の委員会と週1回NST回診です。まず入院時に看護師、管理栄養士が栄養療法の必要な患者さまをチェックし、主治医と相談しながら栄養法について検討します。口から食べられるか？点滴が必要か？経管栄養か？必要エネルギー量はどのくらいかなどを相談します。毎月の委員会でその後の状況を評価します。栄養状態の悪い方の食事や点滴・栄養剤などの検討をするため、毎週月・水・木・金に病棟ごとに回診を行っています。当院では嚥下に問題のある方も多いので、言語聴覚士もチームに加わり、安全で十分な経口栄養補給ができるよう援助しています。

認知症ケアサポートチーム

神経内科 脳神経疾患センター部長 鈴木 秀和

認知症の方が入院されると、環境の変化への適応が難しく、認知症の症状がさらに悪化することがあります。「認知症ケアサポートチーム」は、



認知症による行動や意思疎通が困難な入院患者さまに対して、病気の治療が円滑に受けられるように、専門知識を持ったチームスタッフが、主治医および病棟看護師と協力しながら、安心した療養生活を送れることができるように支援をしていく医療チームです。

●チームメンバー

脳神経内科医・認知症看護認定看護師・社会福祉士・薬剤師・病棟看護師(各病棟に1名配置)

●活動内容

毎週水曜、金曜日に患者さまを訪問し、状態に合わせたケアプランを検討します。各病棟の看護師が患者さまの療養環境、お薬の使用法などの調整を行います。必要があればサポートチームが病棟看護師へのアドバイスを行います。

認知症の方々が、安心して療養し、元の生活場所へ戻っていただけるように支援させていただきます。

褥瘡対策チーム

皮膚科部長 染田 幸子

褥瘡は、活動性低下による圧迫やずれなどの局所的要因のほか、低栄養や疾患による全身的要因、マンパワー不足や資源不足・情報不足などの社会的要因などが絡み合って発生します。



当院の褥瘡対策チームは、医師(皮膚科・形成外科)、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、医事課職員など、複数の職種で構成し、様々な側面から褥瘡予防と治療に取り組んでいます。

すべての入院患者様に対して褥瘡が発生しやすい状態かどうかを評価し、リスクが高い方には個別に対策を立てて予防に努めています。また、すでに褥瘡が発生している患者様については、毎週の回診・カンファレンスで治療方法や処置内容を検討し、早期治癒を目指しています。

緩和ケアチーム

副院長 外科 西森 武雄

厚生労働省は、がん診療拠点病院の医師は全員、また、医師になり2年目から5年目までに、緩和ケア研修会を受けることを義務付けています。



当院はがん診療拠点病院ではないので、緩和ケア研修会を終了した医師は少ないですが、がんの患者さんを診療することは少なくないため、それをサポートするため、緩和ケアチームが数年前よりあります。緩和ケアの認定看護師が誕生した2018年4月より本格的に稼働するようになりました。緩和ケア科も緩和ケア病棟もなく、外来での独立した診察はありませんが、当院へ入院されたオピオイドを使用している患者さんには、緩和ケアチームが必ず対応するようにしています。

当院は急性期病院で入院日数が限られていますので、緩和ケアのみでの入院は難しい面もありますが、少しでも患者さんのQOLを向上させるように努力しています。相談などに対応可能ですので、地域医療連絡室へ連絡くだされば幸いです。

AST (抗菌薬適正使用チーム)

総合内科副部長 藤岡 研

抗菌薬が効かない薬剤耐性(AMR)を持つ細菌が世界中で増えています。将来、薬剤耐性に起因する死亡者数は現在よりさらに増加することが



予想されます。育和会記念病院では、2018年に新たにAST(Antimicrobial Stewardship Team)が設置されました。ASTは、院内薬剤耐性菌の監視、微生物検査、抗菌薬適正使用、感染症の教育などを行うことにより抗菌薬の適切な使用を推進することを目的に設置されたチームです。ASTメンバーは医師、感染管理認定看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務で構成されています。耐性菌の制御は院内だけでなく、周辺の地域全体を通して考えなくてはなりません。御紹介頂いた患者さんの感染コントロール、地域の耐性菌の出現の制御にお役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



第9回大阪東循環器セミナー

2019年5月25日(土)第9回大阪東循環器セミナーを開催しました。

◎『フットケア外来「在宅における着眼点とセルフケア方法」』
看護部 新井智美外来師長・川上雅子看護師

◎『非動脈硬化性血管疾患を識る』
循環器内科部長 河原田修身医師

◎『下肢動脈閉塞、静脈うっ滞、糖尿病による
下肢潰瘍の創傷治療～薬物治療から外科的治療まで～』
形成外科副部長 松島星夏医師

以上3席を講演いたしました。院内外あわせて59名と多数の方々
にご参加いただきありがとうございます。また、座長の労をお



取りいただいた杉
村内科クリニック
杉村圭一院長、共
催いただきました
第一三株式会社
様には厚く御礼申
しあげます。



院内セミナー開催について

2019年4月25日(木) スタンフォード大学の西野 精治教授を
招請し、「熟睡の習慣-眠りのメカニズムとその実践」をテーマに院
内セミナーを開催いた

しました。日々の睡眠
不足が借金のように積
み重なり、心身に悪影
響を及ぼす可能性のあ
る「睡眠負債」について
お話しいただきました。
ご講演賜りありがとうござ
いました。

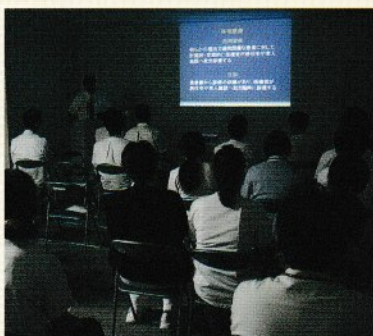


在宅医療セミナーについて

◎2018年8月1日(水) 「終末期医療の症状緩和」
さの内科医院 佐野徹明 院長

◎2018年8月30日(木) 「在宅医療について」
弘善会クリニック 伊藤章 院長

在宅医療に精励なさっている先生方にお越しいただき職員対
象にお話しいただきました。参加した職員
からは「実際の事例を
まじえてとても分かり
やすく感銘を受けまし
た」「在宅医療を学ぶよ
い機会となりました」
との声がありました。
ご講演賜りありがとうござ
いました。



呼吸器教室について

2015年4月より毎月患者さま向けに「肺炎」や「COPD」などを
テーマにした「呼吸器教室」を開催しています。2019年3月には
新たに「睡眠時無呼吸症候群」
をテーマにした講義も開催い
たしました。毎回たくさん
の方にご参加いただき、アンケ
ートでは「大変勉強になった」と
の声を患者さまよりいただい
ております。



糖尿病教室について



2015年10月より患
者さま向けに「糖尿病
教室」を開催していま
す。糖尿病についての
解説やシックデイとフ
ットケア、食事療法や運
動についてのお話をし
ています。



第7回地域医療担当者交流会

2018年9月12日(水) 地域医療担当者交流会を開催いたしまし
た。誤嚥性肺炎を防ごうをテーマに当院の認定看護師からの講義
と実技およびグループワークを実施しました。誤嚥性肺炎は施設
や在宅診療で関わるこ
とが多いため活発に意
見交換が行われました。
今後も地域医療に役立
つ勉強会を開催する予
定ですのでご参加いた
できれば幸いです。



編集後記

そろそろ海や山の恋しい季節となってきましたが皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回も皆さまからのご協力をいただき、はぐくみ第17号を発行することができましたことを心より感謝いたします。当院では今後も地域の諸先生方に役立つ情報を提供できるように努力してまいります。誌面作りについてご意見・ご感想がございましたら、電話・FAX等にてお聞かせください。皆様からのお声を心よりお待ちしております。

地域医療連絡室直通 TEL : 06-6758-8115

検査予約専用 TEL : 06-6758-9230

FAX : 06-6758-8007

医療福祉相談室直通 TEL・FAX : 06-6758-1080